

佳作 夢を叶えること



モハammad フェルディアンシャー
MOHAMMAD FERDIANSYAH
国籍 インドネシア
職種 そう菜製造業
実習実施者 株式会社駿豆給食センター
監理団体 公益社団法人日本・インド
ネシア経済協力事業協会

子どもの時、私にはいろいろな夢がありました。たとえば、警察官とか教師とか医者とかになりたいと思っていました。しかし、大人になって、私の夢は変わりました。私は料理が好きなので、高校に入学したときに料理を専攻しました。

高校卒業後は、日本で働きたいと思いました。桜を見たり、富士山に登ったり、雪を見たり、そういう経験をしたかったと思いました。

そのために、どうしたら日本に行けるかについて、情報を探しました。そして、大好きな料理の勉強を、日本で働きながら続けられる技能実習制度というものを知りました。

日本に来る前に、私は日本語を勉強しました。日本語を学ぶのは初めてだったので、とても大変でした。日本語は英語より簡単だと思いますが、学ぶのは簡単ではありません。でも、ゆっくりなら、日本語が理解できるようになりました。インドネシアで約四カ月間日本語を勉強して、日本に来ました。

初めて日本に来たときは、自分が日本にいたことが信じられませんでした。日本に行けるなんて実現できない

と思っていたので、びっくりしたと同時に、とても嬉しかったです。そして、子どもの時に夢見たけれど実現できなかったのは、希望的観測だけだったからだと気が付きました。私たちが強い意志をもって夢に向かって戦い続けるならば、その夢は間違いなく達成されるに違いありません。

日本はきれいで、人も車も混雑している国だと思います。日本には今まで食べたことのない食べ物がたくさんあります。たとえば、寿司やラーメンや餅です。私はインドネシアで、これらを一度も食べたことがありません。

お寿司を初めて食べたときは、生の魚を食べたことがなかったので、おいしくないと思いました。しかし、時間が経つにつれて、私は再び寿司を食べることに興味が出てきました。食べてみると、とても美味しくて、それからは中毒になってしまいました。残念なことにお寿司は少し高いので、めったに買いません。

私が日本にいられるのは、あと一年半ぐらいになりました。

帰国する前に、日本語能力試験でN3に合格したいと思っています。そのために、私はもっと一生懸命、日本語を勉強しようと思います。日本語は難しいですが、N3合格という目標を達成できるように頑張ります。

私には行きたい所がたくさんあります。しかし、コロナウイルスによって難しくなっていました。コロナウイルスは、日本だけではなく、世界中を襲っています。早くコロナウイルスが消えて、日本中を探検できるように願っています。少し時間がかかるかもしれませんが、きっと実現できると思います。

そして、私は日本が大好きなので、帰国しても、また日本に来たいと思っています。